

- (2) 海魚フアウナを改良し、経済的に価値ある種を他海盆に移植する。例えば、黒海のシマボラ (striped mullet) をカスピ海へ順化、バルト海ニシンをアラル海へ順化させる。
- (3) 諸海盆の魚族の中低価値魚の質をコントロールする事により改良し、高栄養価をもつ高級食肉性魚を盛んに繁殖させるか、あるいは移殖、あるいは低価魚を酷漁しその産卵場を破壊する。
- (4) 餌料生物供給の改良または増加により有価魚の増量をはかる。カスピ海 Nereids, Sindesmi を順化し、アラル海のミシス、エビをバルカシュ湖等に移植し順化さす。
- (5) 漁撈を調整し、魚のストックを合理的に利用する。
- (6) 産業的に有用な無背椎動物 (エビ、カニ、軟体動物等) の海洋順化をはかることにより、海中有用種の量を増す。栄養価、薬効ある海藻の順化 (Acclimatization) による増産。

3 米国標識カツオ2尾 太平洋をハワイへ回遊

宇田道隆 (東京水産大学)

(1) 1尾

イ 放 流

1960年9月5日、米国加州Turtle Bay 西南西約20哩放流
時魚体長不明

ロ 再 捕

1962年6月12日、ハワイOahu島西方約20~40哩再捕時
体長77.4 cm、26ポンド重

サイパン Yellowfin 号再捕 2500哩は少くも泳いだとみら

れるこのカツオ1年以上かかったであろうし、15ポンドぐらい生長？

(2) 他の1尾

イ 放 流

1960年4月17日放流 Roca Partida (IATTC)

放流時の魚体長50~55cm

ロ 再 捕

1962年8月22日再捕

ハワイ Oahu 島沖、再捕時体重26ポンド サイパン Angel号

註：これまで中部太平洋で米水産局カツオ13000尾標識放流しハワイ近海で1331尾再捕のみ。東太平洋5万尾カツオ放流、上記以外は米西岸水域で再捕。(米国水産局発表による)

4 FAO水産海洋学者としての業務

宇 田 道 隆 (東京水産大学)

本会々員寺田一彦博士(前気象庁海洋気象部長、元長崎海洋気象台長)はこの本年末下記の通りFAOの職員として赴任されることになり、吾々と密接な連絡協力活動をさるべく、6月25日水大で本会有志との懇談会をひらいた。同氏のお仕事とアドレスは下記の通り。

FAO水産海洋学者としての業務

- (1) 水産の調査及び開発に関し、海洋学的観点特に海洋物理学及び海洋化学の観点からFAO水産局の計画を立案し、且つ推進する。
- (2) UNESCO内のIOC, WMO及び他の機関の適当な諸活動と関連させて、国際的な海洋及び気象の調査計画という観点に立つて、水産面におけるFAOの仕事を調整する。